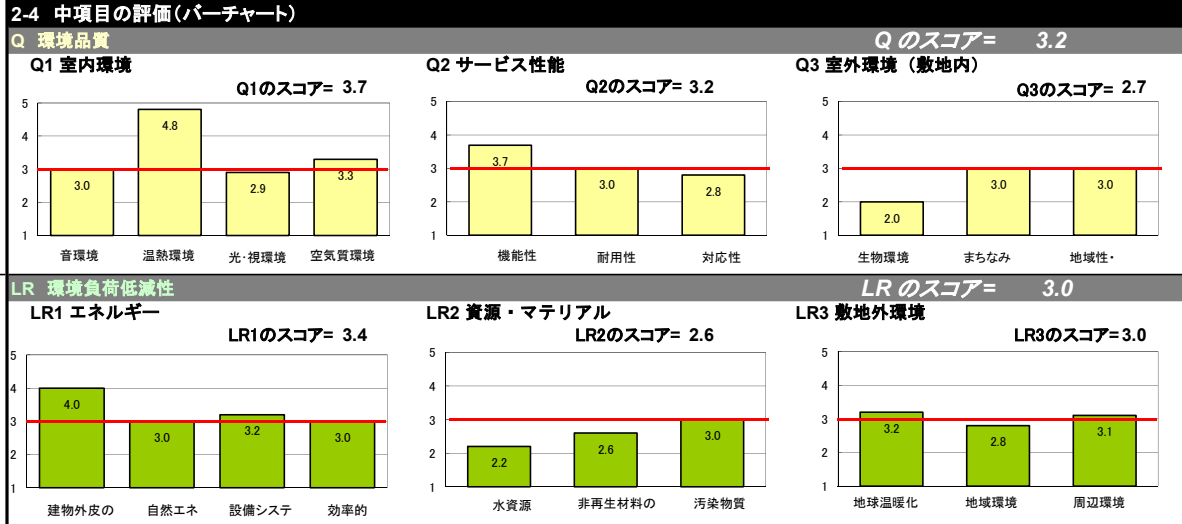
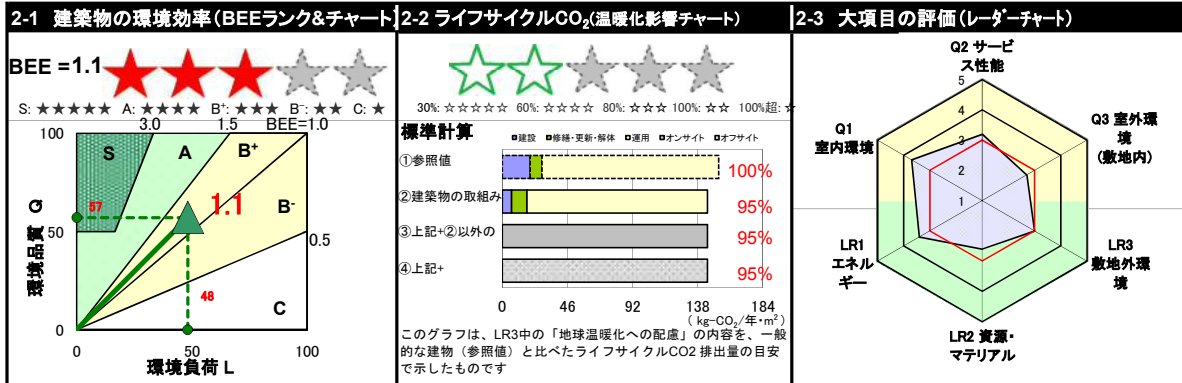


1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	勝川サザンクラスβ 新築工事	階数	地上15F		
建設地	愛知県春日井市小野町二丁目1-3	構造	RC造		
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	704 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年		
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2018年2月1日		
敷地面積	6,943 m ²	作成者	長谷工Co. 松本		
建築面積	1,352 m ²	確認日	2018年2月8日		
延床面積	14,354 m ²	確認者	長谷工Co. 田中		



3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.2</p> 	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.0</p> <p>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">38.7 %</p> <p>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.7</p> 	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積 (建築面積及び附属物面積) を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積 (法定面積)}} \times 100$



3 対応性・更新性					2.8	0.29	2.8	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり					-	-	2.6	2.6	0.50	
1 階高のゆとり			住戸階高 2860以上		-	-		3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ					-	-		2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					-	-		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					2.8	1.00			-	
1 空調配管の更新性		②			3.0	0.17			-	
2 給排水管の更新性					2.0	0.17			-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.11			-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.11			-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.22			-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22			-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30		-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出		独自③			2.0	0.30			-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④			3.0	0.40			-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.30			-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④			3.0	0.50			-	
3.2 敷地内温暖環境の向上					3.0	0.50			-	
LR 建築物の環境負荷低減性										3.0
LR1 エネルギー					-	0.40		-	-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制			省エネ等級4取得		4.0	0.33			-	4.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.17			-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI 0.98		3.2	0.33			-	3.2
4 効率的運用					3.0	0.17			-	3.0
集合住宅以外の評価										
4.1 モニタリング										
4.2 運用管理体制										
集合住宅の評価					3.0	1.00			-	
4.1 モニタリング					3.0	0.50			-	
4.2 運用管理体制					3.0	0.50			-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30		-	-	2.6
1 水資源保護					2.2	0.15			-	2.2
1.1 節水					1.0	0.40			-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60			-	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	1.00			-	
2 雑排水等利用システム導入の有無									-	
2 非再生性資源の使用量削減					2.6	0.63			-	2.6
2.1 材料使用量の削減					3.0	0.07			-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.24			-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	-		3.0	0.20			-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	-		1.0	0.20			-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					3.0	0.05			-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自			3.0	0.24			-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.0	0.22			-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.32			-	
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.68			-	
1 消火剤									-	
2 発泡剤(断熱材等)					3.0	0.50			-	
3 冷媒					3.0	0.50			-	
LR3 敷地外環境					-	0.30		-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		①	換算スコア4.4		3.2	0.33			-	3.2
2 地域環境への配慮					2.8	0.33			-	2.8
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25			-	
2.2 温暖環境悪化の改善					3.0	0.50			-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					2.5	0.25			-	
1 雨水排水負荷低減		独自			3.0	0.25			-	
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25			-	
3 交通負荷抑制		独自			3.0	0.25			-	
4 廃棄物処理負荷抑制					1.0	0.25			-	
3 周辺環境への配慮					3.1	0.33			-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40			-	
1 騒音		独自			3.0	0.33			-	
2 振動		独自			3.0	0.33			-	
3 悪臭					3.0	0.33			-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40			-	
1 風害の抑制					3.0	0.70			-	
2 砂塵の抑制									-	
3 日照障害の抑制					3.0	0.30			-	
3.3 光害の抑制					3.7	0.20			-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			添付資料 ガイドライン参照		4.0	0.70			-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30			-	

重点項目スコアシート

勝川サザンクラスB 新築工事

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.2
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.2	0.10	
② 資源の有効活用				2.7
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	2.8	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.6	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:38.74%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 勝川サザンクラスβ 新築

計画上の配慮事項	
総合	沿道に極力緑地を設けることで周辺環境、景観にも配慮し、全体の演出を図った。
Q1 室内環境	室内環境の向上をめざし、F☆☆☆☆建材を採用している。
Q2 サービス性能	劣化対策等級3など耐久性に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	沿道沿いは緑量感のある緑化計画とし、周辺地域への良好な住環境の形成に配慮している。
LR1 エネルギー	設備システムの効率化に重点を置いている。
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含まない建材種別の採用を重視している。
LR3 敷地外環境	周辺環境への配慮に重点を置いている。
その他	周辺環境への配慮に重点を置いている。